

家族で作る過ごしやすい住まい

千葉県 浦安市立美浜中学校

三年 白澤 知佳

「ただいま」と我が家に一歩踏み入れると、私はいつもほっとする。住まいは私にとって安心できる大切な空間だ。私が初めて住まいについて考えるきっかけとなったのは、三年前のリフォームだ。

我が家は三年前、マンションをリフォームした。家族が過ごしやすい住まいにするために、家族全員で話し合い、家族の時間を大切にできるリビング中心の家にリフォームするとうことが決まった。具体的には、廊下を削ってリビングを広くし、家族全員が集まって快適に過ごせるようにした。さらに、どの部屋もリビングとつながるようにし、いつでも家族が顔を合わせられるようにした。

また、私は、自分の部屋をリラックスでき、勉強に集中できる空間にしたいと考えていた。そこで、リラックス効果のある緑色が入った壁紙を選んだ。また、成長していく上で荷物が増えていくことを見越して、大きいクローゼットもつけてもらった。このように、自分たちで意見を出し合い、自分たちの生活に合わせてリフォームした家は、とても過ごしやすい住まいになった。

しかし、リフォームして間もなく、新型コロナウイルスの感染拡大で生活スタイルは大きく変化し、父は在宅勤務になった。父の在宅勤務はリフォームしたとき想定していなかった。そのため、家具の配置を変えることによって、父が仕事をしやすい空間を作った。家具の配置を変えるなどの工夫をすることも過ごしやすくなるということを学んだ。

このような経験から、生活スタイルの変化に合わせてリフォームしたり家具の配置を変えたりすることで、過ごしやすい居住空間を作り出せるということがわかった。自分たちの生活スタイルや時代の変化に合わせて住まいを柔軟に変えていくことが、快適に暮らすために重要なことだと思う。